

情報工学分野のプロとして活躍するために

確実な基礎技術と、実験や実習による実践力及び、創造性と問題解決能力を兼ね備えた、人間性豊かな人材を育成します。

応用情報工学科で学ぶこと

ソフトウェアとハードウェアの知識をベースに、情報処理、ネットワークシステム、組み込みシステムの3つの分野を教育研究の柱として学ぶことができます。



4年次 専門応用

4年次は、実践的な授業であるプロジェクト実習と卒業研究が中心です。卒業研究では、情報処理、ネットワーク、組み込みシステムに関する最新の研究に携わることができます。

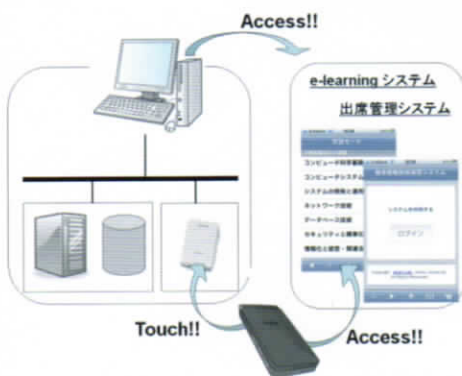


大学院

より専門的で高度な知識の習得と、それらを応用した研究活動が中心です。企業における研究・開発部門を支えることのできる情報工学分野の広い知識と見識を養うことができます。



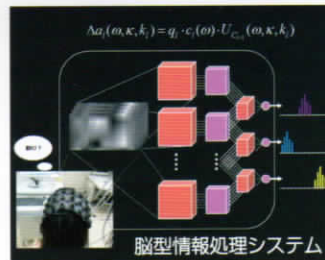
教育・研究分野 — 新しい情報の世界を創造する —



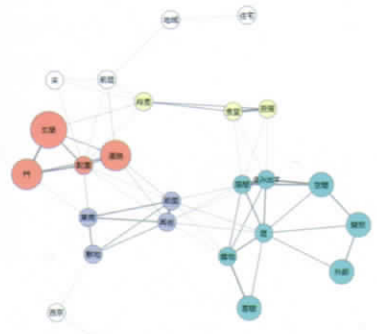
理解度に応じた学習支援システムを開発しています。



超高解像度の干渉縞を高速計算し3次元像を表示します。



頭で考えただけでものを動かすインタフェースを開発しています。



ネットワーク分析により、項目間の関係を分析します。

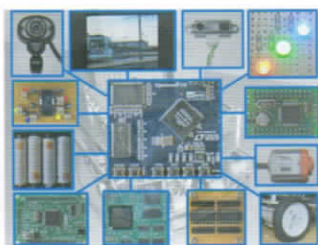
情報処理

組み込みシステム

マイコンを使って、気球をコントロールする組み込みシステムを開発しています。



高信頼な産業用コンピュータシステムを開発しています。



ネットワークシステム

聴覚障がい者支援のための生活音識別システムを開発しています。



コンテンツの著作権を管理しながら、配信するシステムを開発しています。

